

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 3 0 年 7 月 2 6 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	7 月 2 6 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	7 月 2 6 日 午 前 1 1 時 2 0 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、熊谷次長、清水次長兼教育政策室長、		
	栗津副参事兼教育総務課長、武藤学務課長、		
	教育政策室川和田担当課長、小須田学校給食課長、福田生涯学習課長、		
	教育政策室春山主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本副主幹、片桐主任		
傍 聴 人	3 人		

会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長

止まることのない今月の暑さには、皆さんうんざりされていることと思います。今週23日は、熊谷で41.1℃と、5年ぶりに国内最高気温の記録を更新しました。

これまでの夏はどんなに暑くても、「うだるような暑さが連日続いている」との表現が一般的だったように記憶しています。しかし、今年は、「経験したことのないような猛烈な暑さ」とか「命に関わる危険な暑さ」などと表現の熱量もアップしています。

高齢者だけでなく、校外学習を終えた小学1年生が酷暑のため亡くなりました。痛ましさに言葉がありませんでしたが、「何が生きる力の育成だ」と言うネット上の学校批判も心に刺さりました。本市でも終業式などの集会を体育館から放送に切り替えた学校もたくさんあったようです。

1954年にアメリカで提案された指標に暑さ指数<WBGT(湿球黒球温度)>というものがあり、環境省の「熱中症予防情報サイト」に、熱中症の仕組みや対処法とともにその解説があります。単位は気温と同じ摂氏度(℃)で示されますが、その値は気温とは異なります。湿度、日射・輻射など周辺の熱環境、気温の3つを取り入れた指標です。目安として、WBGTが28～31℃は嚴重警戒で、激しい運動や持久走などの運動は避ける。体力の低い人や暑さになれていない人は運動中止。WBGTが31℃以上では、子供は運動を中止すべきとなっています。

今月14日、某新聞のバーチャル高校野球で『運動部のみんな、熱中症「無理」「もうダメだ」の勇気を』と題して熱中症予防を呼びかけました。内容は、「それは無理」と感じた時、「もうダメだ」と体に異変を感じた時、仲間のおかしい時、自分や仲間を守るために、声を上げましょう。とても勇気がいることです。でも、みなさんの方が正しい場合がきっとあります。などと運動部員に向けて限界だと周囲に伝えることが大事だと発信しました。

	<p>しかし、この記事を投稿した公式 Twitter のもとには反論が相次いだそうです。そもそも夏の甲子園を中止するのが熱中症予防には最も効果的なのではないかという意見です。「NOと言えない雰囲気があるのは間違っている」と書くのなら、主催者（某新聞社）こそが先陣を切って行動すべき、との意見もありました。</p> <p>この賛否はともかくとして、思い切って中止を決断する勇気も大切です。学校や自治体では、通知や注意喚起のかけ声だけでなく、気温などの一定基準に基づき勇気をもって中止を決めるのも、命を守るためには必要と考えました。この点につきましては後ほど担当から報告をさせます。</p> <p>昔は炎天下で元気に汗を流した。今の子はひ弱でいけない。そんな声も聞きますが、地球温暖化や都市への人口集中で、今の「平年並みの暑さ」は昔でいえば猛暑に当たるといいます。ましてや今年は無常事態です。前例や経験のない事態にどう対処するか、リーダーの資質が問われています。</p>
教 育 長	<p>ただ今から、平成30年第8回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、人事案件及び議会提出案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告第 7号 戸田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p> <p>報告第 8号 戸田市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について</p>

	<p>議案第16号 平成30年度行政評価(案)について</p> <p>議案第17号 平成30年度一般会計教育委員会関係9月補正予算(案)について</p>
各委員	異議なし
教育長	<p>それでは「報告第7号及び報告第8号、議案第16号及び議案第17号」は、秘密会とすることに決定いたしました。</p>
教育長	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 教育委員提案の進捗状況について(土肥委員)</p> <p>② オーディオ・ビジュアル環境の現状と今後の整備について(仙波委員)</p> <p>③ 外国語活動におけるモジュール授業について(鈴木委員)</p> <p>それでは土肥委員から御提案のありました「教育委員提案① 教育委員提案の進捗状況について」を先月に引き続き事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>①教育委員提案の進捗状況について報告します。</p> <p>本案件につきましては、先月、教育総務課・学校給食課・生涯学習課にかかる進捗状況を御報告いたしました。今月は、残りの学務課・教育政策室につきまして御報告いたします。</p> <p>それでは、各担当課より御報告いたします。</p> <p>まず、学務課の事業につきまして、特に「教職員の多忙化対策」と「コミュニティ・スクール」の2点について御報告いたします。</p> <p>教職員の多忙化対策については、ハード面では、エアコンや校務支援システムの導入、ソフト面では、市費によるスクールカウンセラーやさわやか相談員など様々な人的支援により教職員の負担軽減を図ってまいりました。今後も、教員が児童生徒と向き合う時間を確保できるようにするとともに、授業準備などを十分に行えるよう「学校における働き方改革」を推進してまいります。</p>

また、働き方改革は、学校や教職員一人一人の意識改革を図ることも大切です。現在、戸田市負担軽減検討委員会では、各学校のグッドプラクティスを取りまとめた「負担軽減事例ハンドブック（案）」を作成しております。今年度中に各学校に配布し、教職員の意識改革の一助として活用を促していきたいと考えております。

次に、コミュニティ・スクールについてですが、本市では、今年度より市内全小・中学校においてコミュニティ・スクールを導入し、各学校に学校運営協議会を設置いたしました。

学校運営協議会を設置すればすぐに学校や地域が劇的に変わるものではないと担当としても考えております。大切なことは、委員の方たちからの意見をもとに、学校運営協議会で熟議を重ねていただきながら、学校の課題や目標を共有していただくことです。

先週には、校長や委員の方たちのコミュニティ・スクールに関する理解をより一層深めるために、平成28年度から継続的に講師を依頼している文部科学省の相田康弘先生をお招きし、管理職及び学校運営協議会の委員対象の研修会を実施いたしました。研修会では、今後の学校運営協議会において、どのような内容や方法で熟議を進めていけばよいかについて示唆をいただきました。

また、今年度は、杉並区立天沼小学校前校長の福田晴一先生に戸田市のCSディレクターを依頼し、今後、市内の学校運営協議会に出席していただき、校長への助言や支援を行っていただくよう計画をしております。

続きまして、教育政策室関係の事業につきましては、多岐にわたりますので、どのような目標のもとでどのような取組を行っているのか、またその教育改革の現状と課題、今後の施策について別紙にまとめましたのでそちらを御覧ください。別紙資料につきましては、教育政策室及び学務課の事業の一部を網羅的にまとめたものです。1ページはそれぞれの柱建てのもとでどのような取組を行っているのか図で表し、2ページから4ページはそれぞれの取組の現状と課題、今後の施策について一覧表にまとめまし

た。

教育政策室関係の事業につきましては、教育委員会会議で何度か御説明し、既に継続的な取組や、また学校訪問でも御覧いただいている施策が多くありますので、いくつかピックアップして御説明いたします。

それでは別紙２ページの戸田市の教育改革の現状と課題、今後の施策（平成３０年度版）を御覧ください。各取組に対する目標、現行の取組、課題、今後の施策、関連データや主な連携先をまとめたものです。

まず、２ページ中段「P E E Rカリキュラムの推進について」です。

８の英語教育につきましては、教育委員提案③で詳細を御説明いたします。７のプログラミング教育、９の経済教育、１０のリーディングスキルについては、着実に各学校での取組や教員研修会を進めております。

３ページ上段「産官学民との連携による新たな学びの実践」について、１１の産官学民連携については、現在７０を超える企業や大学、教育関係機関と様々な分野で連携を進めております。本資料の一番右側に各取組の主な連携先を掲載しております。１３のEdTechについては、EducationとTechnology（教育とテクノロジー）を組み合わせた造語ですが、主には、I C Tの効果的な活用を積極的に進めております。今年度は市内小学校にChromebookを２,０００台配置し、I C T活用を一層推進してまいります。

また、１６の体力向上については、体力向上推進委員会や青山学院大学との連携、今後は日体大との連携や企業との連携を進めていきます。１７の道徳教育については、「考え、議論する道徳」がより質の高いものとなるよう、「平成３０年度 指導の重点・主な施策」に参考資料を掲載したことをもとに、学校訪問で指導したり、教員研修会を実施したりするなどして進めております。

３ページ中段の「ループリックを軸とした指導改善サイクルの確立」について、１９から２２のアクティブ・ラーニング推進のための戸田市型授業改善モデル等については、独自に開発したアクティブ・ラーニング・ル

	<p>ーブリックを活用しながら新たな取組を進めております。詳細については、次回教育委員会時に改めて御説明いたします。</p> <p>また、23の教員研修については、委員の皆様にも御参加いただいておりますが、産官学民の有識者と連携した教員研修会を積極的に開催しているところです。</p> <p>3ページ下段から4ページにかけての「多様なニーズへの対応」について、24のいじめ対策については、改定した「いじめ防止基本方針」に基づき、今年はLINE株式会社と連携し、コミュニケーションスキル育成のための授業を行うなどの「いじめピースプロジェクト」などを積極的に実施しております。</p> <p>25の特別支援教育については、特別支援学級の計画的な設置や産官学の有識者と連携した研究や教員研修を実施しております。4ページに続きます。26の就学相談については以前も御説明いたしましたが、現在、保育園幼稚園と連携し、就学前のお子さんを対象にした早期の就学相談を進めております。また、今年度から就学支援委員会を8月にも実施し、年2回とし、より一人一人に寄り添う就学相談を進めております。今後もお子さんや保護者に寄り添った就学相談を進めてまいります。</p> <p>また、30の教育相談体制の充実については、昨年度、これまでの相談体制に加えて、県内初の小学校専任のスクールカウンセラーを配置しました。また、今年度は、教育センターに教育相談コーディネーターや心の教育アドバイザーを配置し、不登校児童生徒の対応や学校と保護者間のトラブルの仲介を行うなど、素晴らしい活躍をいただいています。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>2回にわたり、これまでの提案について報告いただきありがとうございました。今後も進捗状況について報告をしてください。</p> <p>また、各学校のコミュニティ・スクールの運営協議会等でどのような取組や意見があるのか取りまとめて報告してください。</p>

事務局	<p>承知いたしました。委員には学校運営協議会研修会に御参加いただきましてありがとうございました。</p> <p>各学校の学校運営協議会の実施状況ですが、4月に3校が、その他の学校は6月までに全校実施し、学校運営方針を承認いただいたところです。初回は学校運営方針の承認等が主でしたが、今後も実施予定ですので、それらを取りまとめて改めて御報告いたします。</p>
委員	<p>教育改革の現状と課題、今後の施策について図や表でまとめたことにより、大変分かりやすく素晴らしいと思います。</p> <p>特に英語教育については、学校訪問で各学校に伺うと、現状や課題が分析・考察できているのがよくわかります。</p>
委員	<p>現状と課題がよくまとめられており、これこそが戸田市の教育改革の骨子だと思います。</p>
委員	<p>大変よくまとまっていると思いますが、英語教育で言えば、この中から世界が見えませんか。戸田市は何を目指しているのか、多様性の教育がどこに潜んでいるのか、子供たちの視野を世界に向けていく取組があってもいいのではないのでしょうか。そしてそれらの目指すところは何なのか、そのつながりを意識してほしいと思います。</p>
教育長	<p>戸田市が目指すとだっ子の将来像が描かれているとよいと思います。</p>
事務局	<p>各学校の教育目標に目指すとだっ子像がありますが、抽象的なものが多い状況です。この議論は、教室の中につながっていかねばなりませんので、現場を巻き込みながら今後議論していきたいと考えております。</p>
教育長	<p>この表は随時バージョンアップしていきます。校長には共通理解を得ていますが、教員一人一人にまで伝わっているのでしょうか。教育委員会からだけでなく、教室の中から校長へ、校長から教育委員会へ、インタラクティブな教育改革を進め、この表にも魂を込めていきたいと思います。</p>
教育長	<p>続きまして、仙波委員から御提案のありました「教育委員提案② オー</p>

	<p>ディオ・ビジュアル環境の現状と今後の整備について」事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>②オーディオ・ビジュアル環境の現状と今後の整備について報告します。</p> <p>音響設備と映像設備に分けて御説明いたします。</p> <p>まず、音響設備の現状につきましては、放送室（教室含む）においては、一斉放送・エリア放送・CDの利用が可能です。また、音楽室・体育館においては、オーディオシステムの利用が可能です。校庭では、一斉放送の利用が可能です。一部の学校において備品でスピーカーシステムを導入し、校庭で利用しております。</p> <p>映像設備の現状につきましては、放送室（教室含む）においては、DVDプレーヤーやパソコンを大型テレビに投影することができます。また、音楽室・体育館においては、DVDプレーヤーやパソコンを大型テレビやプロジェクターにつないでスクリーンに投影することができます。校庭では映像の配信はできません。</p> <p>今後の整備につきましては、音響設備につきましては、老朽化対応に併せて検討していく予定としております。また、現在、一部の学校の校庭で利用されているスピーカーシステムについては、各学校に担当している備品予算内で随時行ってまいります。</p> <p>映像設備につきましては、校内LAN環境を利用し、録画映像やリアルタイム映像を全教室に配信できるシステムを検討しております。校庭での映像配信については、現在同様行う予定はありません。</p>
教育長	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委員	<p>ぜひ整備をよろしく願います。</p>
教育長	<p>大学の設備等と比べるとまだまだ整備がされておりましたが、少しでも整備を進めてください。</p>
事務局	<p>承知いたしました。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>続きまして、鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案③ 外国語活動におけるモジュール授業について」事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>③外国語活動におけるモジュール授業について報告します。</p> <p>外国語活動のモジュール授業については、今年度から3年生以上は年間35時間、1週間では15分間×3回実施しております。総時間数はこれまでよりも年間35時間増加し、70時間の実施となっております。</p> <p>授業については、資料5ページの上部に記載しておりますとおり、45分間のALTとのチーム・ティーチングの授業と、担任のみで行う15分間の週3回のモジュール授業を関連させる形で実施します。</p> <p>5ページ中段のとおり、15分の授業をパターン化して授業を行うこととし、コミュニケーションと文字にふれることを融合させながら進めています。</p> <p>6ページは、各学校のモジュール授業の実施一覧です。昼の時間に実施したり、朝の時間に実施したりするなど、各学校のカリキュラム・マネジメントに基づき実施しています。モジュール授業のない日には、他の教科の取組を実施しております。</p> <p>5ページにお戻りください。モジュール授業の成果としては、短い時間なので、集中して活動に取り組むことができることや、週3回英語に触れることができるので、様々な表現に慣れ親しむことができるということがあげられます。また、45分間のALTとの授業にもよい影響が見られることや、後程御覧いただくデジタル教材が活用しやすいということも成果としてあげられます。</p> <p>また、課題については、少なからず負担を感じている教師は80%程度いることがわかりました。7ページを御覧ください。6月に実施した外国語活動モジュール授業に関するアンケートの集計結果です。先程申し上げたとおり、質問番号(8)の負担感については、80%程度が感じているとの結果が出ました。</p>

	<p>今後、研修会を実施するなどして、教師が負担無くモジュール授業を実施できるようにしていきたいと考えています。また、デジタル教材については、活用が進んでおりますが、半数以上の教師が毎回ではなくたまに活用しているという状況ですので、更に活用が進むように進めていきたいと考えています。</p> <p>それでは、本市で導入しているデジタル教材（SWITCH ON!）を使用したモジュール授業の一例を御覧ください。</p> <p><デジタル教材の実演></p> <p>最後に8ページを御覧ください。今年度の英語教育推進計画です。特に、下段中央の赤い枠を御覧ください。Enjoy（楽しむ）、Enrich（豊かにする）、Explore（探究する）の3つの頭文字のEとCommunicationの頭文字のCで3×ECプランと名付けております。</p> <p>改めて御説明の機会を作りたいと思いますが、①アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、②教員の英語力向上、③グローバル人材の育成を進めるために様々な施策を進めてまいります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>モジュール授業についてよくわかりました。各学校が工夫してモジュールを作り出し、きちんと取り組んでいるのがよくわかります。</p> <p>授業時数の教育課程の特例措置終了後はどのようになりますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>現在同様、教育課程の特例措置で総合的な学習の時間の授業時数を減じて英語の授業時数を増やしたいと考えておりますが、申請する際にはお諮りいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>先生方が英語の教員免許や英検の資格をお持ちであれば保護者は安心かと思いますが、サポートは考えていますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>教員本人の意向を聞きながら、英検取得のための補助等を考えてまいります。また、Teach For Japan と更に連携しながら、幅広く専門性を持って</p>

	いる人を学校現場に配置していきたいと考えております。
委 員	今年の3月作成の「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」成果報告書では、プログラミング教育に係る教員の資質・能力の向上についてまとめられておりますが、これの英語版も作成してみたいかでしょうか。
事 務 局	既にモジュールプログラムハンドブックを作成しております。コンパクト版もあります。
教 育 長	SWITCH ON!で Lesson と Category を使い分けることで身に付く技能に差は生じませんか。
事 務 局	到達するところは同じです。コミュニケーション活動を重視する教員は Category を使用するようです。しかし、日々モジュール授業を行うことが重要と考えます。
教 育 長	モジュール授業を行うことに対し、全く負担を感じていない教員はどのような人なのでしょう。
事 務 局	やはり英語が専門の教員です。メインの45分間の授業は、ALTとのティーム・ティーチングですので、特に負担感はないようです。
教 育 長	<p>それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。</p> <p>① 戸田市立新曾中学校の増築等について</p> <p>② 「戸田市立中学校学校選択制のご案内」冊子の配布について</p> <p>③ 学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について</p> <p>④ 戸田市事務職員（教育卒）の採用について</p> <p>⑤ 戸田市部活動方針の策定について</p> <p>⑥ その他</p>

	<p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事務局</p>	<p>①戸田市立新曽中学校の増築等について報告します。</p> <p>新曽中学校通学区域内の小学校4校の児童数及び学級数の増加に伴い、既存校舎では教室数が不足すること、今後も生徒数及び学級数が増加し続ける見込みであることから、平成32年度の供用開始を目指して教室棟増築工事を行います。このたび、設計が完了いたしましたので報告します。</p> <p>別冊資料の1ページを御覧ください。左側が学校全体の配置図です。</p> <p>増築の場所は、左上（北西）の濃い網掛けが掛かっている場所です。</p> <p>現在、駐車場として利用している場所であり、来客用の駐車場がなくなってしまうため、新たに8台分の駐車場を右下（南東）に設けます。このページの右側が駐車場のイメージです。</p> <p>続きまして2ページ及び3ページを御覧ください。増築教室棟の平面図です。</p> <p>水色が教室、緑色が特別教室、ピンク色が給食の配膳室になっています。将来の教室不足を考慮し、普通教室を9教室、特別支援学級を2教室、特別教室（調理室と被服室）を2教室増築します。それ以外の設備として、エレベーター、多目的トイレを設置します。増築教室棟と既存の特別教室棟との生徒の導線ですが、1階は、今まで段差がありましたが、できる限り段差を解消し体育館までスムーズな導線を確保します。</p> <p>2階、3階については、渡り廊下を設置し既存の教室棟からもスムーズな動線を確保します。</p> <p>次に、既存建物の改修部分について説明します。</p> <p>改修するのは、資料の下段の黒くなっている部分の特別教室棟です。生徒の増加に伴い、教職員も増加するため、それに対応するための改修工事です。</p>

	<p>1階では、木工室を会議室に、金工室を木金工室に改修します。</p> <p>2階では、職員室を大きくし、校長室と更衣室を移動します。</p> <p>3階では、生徒数に対して理科室が不足するため、調理室を第3理科室に改修します。</p> <p>4階では、被服室を、普通教室に改修します。</p> <p>次に、4ページを御覧ください。</p> <p>この改修工事は、給食の配膳コンテナが、段差があることにより東棟へ配膳できず、現在の配膳室まで食缶や食器を取りに行くため、給食の準備と片付けに時間が掛かり、給食の時間が制限されるということから、段差解消のための改修工事です。改修内容は、東西の昇降口の間ピロティに通路を設置し、配膳室から東棟までをバリアフリーにするものです。</p> <p>5ページについては、増築棟の立面図になります。</p>
事務局	<p>②「戸田市立中学校学校選択制のご案内」の冊子の配布について報告します。</p> <p>別添黄色の冊子を御覧ください。これは、平成31年度戸田市立中学校入学児童を対象に配布したものです。</p> <p>昨年度と大きな変更点はございませんが、より保護者に理解していただけるよう、ページレイアウトや文言の修正を行いました。2ページには学校選択に当たって特に注意すべきことを、4ページには手続方法を、5ページにはQ&Aを示しました。7ページ以降は、各中学校の紹介になっております。</p> <p>今後、各中学校の受け入れ予定定員数を保護者に対して9月7日に周知し、正式な受け入れ定員数を11月5日に周知します。受入人数につきましては、昨年度と同様、各中学校の校長と協議して最終的な定員数を決定いたします。定員を超えた場合は抽選となります。抽選は11月17日(土)に行います。その後、補欠者繰り上げ期間を設け、2月20日(水)が最</p>

	<p>終決定となります。</p>
事務局	<p>③学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について報告します。</p> <p>資料1 ページを御覧ください。学校総合体育大会二市大会の結果でございます。○印がついているところは、草加市との県南大会出場、◎印がついているところは、県大会出場となっております。</p> <p>2 ページを御覧ください。県大会に出場した学校、競技、種目です。また、記載はありませんが、現在のところ、関東大会や全国大会に出場した学校は戸田中のボート部が全国大会、新曾中の体操が全国大会出場となっております。</p>
事務局	<p>④戸田市事務職員（教育卒）の採用について報告します。</p> <p>教育行政のプロ採用ということで、教育委員会事務局への配属を中心にキャリアアップしていく教育卒の事務職員の採用を昨年度から開始し、今年の4月に2名を採用したところです。その2名とも意欲を持って頑張っております。</p> <p>エビデンスベースでの教育政策立案を中心に戸田市の教育改革を更に進めていくため、今年度も来年度採用に向けて事務を進めております。先週末に教育センターにて業務説明会を実施したところ、新卒、民間企業、大学職員と思われる方など25名の参加がありました。質問も活発に出され、大変盛り上がった説明会となりました。昨年度の参加者が7名でしたので、かなり関心を持っていただけたのではないかと思います。今後、筆記試験や面接を経て11月下旬には最終合格者が決定する予定です。</p>
事務局	<p>⑤戸田市部活動方針の策定について報告します。</p> <p>戸田市部活動方針につきましては、前回パブリック・コメントの回答(案)について御指摘いただきましたことをもとに、資料6～7ページの回答を公表いたしました。</p>

さらに、部活動方針については、別添の冊子のとおり策定いたしました。

運用開始については、3ページの通知のとおり、平成30年8月27日からとなります。なお、現中学3年生が運用開始日に引退していない部活においては、現3年生が引退した翌日からの運用開始としております。

この市の方針を踏まえて、各学校でも部活動方針を定め、2学期から本格運用いたします。また、保護者・地域への理解を得るべく、別紙のリーフレットを小・中学校の全家庭に配布するとともに、広報とだ8月号においても部活動方針について掲載する予定です。方針が正しく運用されていることの確認については、各学校の管理職が適切に指導し、見届けをするとともに、教育委員会としても、部活動に関する実態把握調査を年度内に行う予定です。

資料4ページの3「部活動顧問が参加するクラブチームの活動の取り扱いについて」を御覧ください。

現在、一部の部活動顧問がクラブチームの設立等の計画をしているというところでございます。そこで、クラブチームは学校管理下による学校教育活動ではなく、私的な社会教育活動であることから、その留意事項について7点記載いたしました。

特に、4点目のクラブチーム等での活動は、学校管理下の教育活動における「日本スポーツ振興センター」の保険給付対象ではないため、クラブ員、指導者ともに任意の保険へ加入する必要があることや、5点目のクラブチーム等の活動については、指導者の過失等により、クラブ員等に生じた損害は指導者が自ら責任を負うことになり得ることなど、十分に留意しなければ、教員自身を取り返しのつかない状況に陥る可能性があることから、教員を守る意味も含めて明記をしております。

今後、8月23日には、教育委員会主催で「教員によるクラブチーム設立説明会」を開催し、クラブチーム設立を考えている教員からの相談を受けながら、適切な活動ができるよう支援していきたいと考えております。

教育長	次に⑥その他ですが、事務局より何かありますか。
事務局	<p>教育政策室より2点報告いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教科書採択について <p>現在、来年度から使用される中学校「特別の教科道徳」の教科書採択期間中ですが、埼玉教育フォーラムと教育と自治・埼玉ネットワークから、2019年度使用中学校道徳教科書の採択に係る要望書及び請願が送付されました。委員の皆様の机の上に置かせていただきましたので、お目通しをお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防について <p>このたび、児童生徒の熱中症事故防止にかかる本年度の市内小・中学校の夏季休業中の活動方針を策定しましたので御報告いたします。</p> <p>まず、小中学校で共通していること、今回の方針の肝といえる部分は、「戸田市気象情報」の前日の午前11時更新の情報で、最高気温が35度以上となることが予報される日については、小学校は、補習授業や委員会活動等を含む一切の活動を行わないこと、そして、中学校は、屋外活動（体育館等の冷房が効いていない場所での活動を含む）は一切行わないこととしました。</p> <p>小学校については、当日実施できる場合でも活動は午前11時までとし、午前中には児童が帰宅できるようにと決めました。ただし、金管クラブについては、冷房の効いた部屋での活動を行う場合には、登下校の気温及び全体の活動時間等に十分配慮した上で、校長の許可を得て、午前11時以降も活動を行うことができる例外規定を設けました。</p> <p>中学校については、当日実施できる場合でも、当日の気象情報を確認し、最高気温が35度以上となっていた場合には、屋内の冷房の効いている部屋に早目に移動するなどの適切な対応をとることとしました。</p> <p>また、部活動の練習試合も前日の予報が35度以上の日の場合には延期</p>

	<p>又は中止することと決めました。</p> <p>続きまして、教育総務課より報告いたします。</p> <p>先月御報告いたしました、笹目中学校及び美女木小学校のブロック塀修繕工事につきまして、入札が終了し、修繕工事が始まったところです。工事は夏休みいっぱいかかる予定です。そのため、美女木小学校においては今年度のプール授業は中止となりましたが、笹目中学校においては9月の体育祭終了後にプール授業を行うと伺っております。</p> <p>また、小・中学校のブロック塀につきまして再度調査したところ、笹目中学校及び美女木小学校ほどの早急な対応を取る必要はないが、修繕が必要であると判断した箇所が新曽小・笹目小・喜沢小・美笹中に1箇所ずつありました。</p> <p>いずれもブロック塀の高さが1.2mを若干オーバーしているもの、児童生徒がほとんど通らないところなどです。しかし、今年度中に修繕を行うべく準備をしております。</p>
教 育 長	<p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>報告事項④の教育行政のプロ採用の説明会は私も参加しましたが、次長のプレゼンが大学の講義を聞いているようで、将来の戸田市の教育を象徴するような素晴らしい説明会でした。</p>
教 育 長	<p>報告事項⑤の部活動方針については、県教委に先駆けて作成しました。スポーツ庁のガイドラインをそのまま引用したものではなく、部活動に関わる方々の意見や魂が込められた方針となりました。これにより、部活動の転換期を迎えたと思っております。</p>
委 員	<p>部活動方針に熱中症事故防止のための活動方針を盛り込む必要はありませんか。</p>
事 務 局	<p>2学期以降も学校行事など部活動方針と別に様々な基準を定めることを考えており、それらは別のものにしたいと考えております。</p>

委 員	夏休み中も養護の先生は必ず在校しているのでしょうか。
事 務 局	養護教諭が必ず在校しているとは限りませんが、管理職は必ずおります。また、保健主事も在校している場合もあります。夏季休業前には、必ず研修を行い、万が一の際に応急処置できるように徹底しております。
教 育 長	それでは、他に質問等ないようですので、次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、8月22日（水）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	その他に委員から教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委 員	先程もお話ししましたが、教育委員提案の進捗状況について、随時報告をお願いします。 また、各学校のコミュニティ・スクールの運営協議会等でどのような取組や意見があるのか取りまとめて報告してください。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	視察の受入状況については、昨年度も報告していただきましたが、今年度も多くの受入れを行っている聞いておりますので、最新状況を報告してください。
事 務 局	承知いたしました。

委 員	図書館本館の休館に伴う臨時自習室について、運営状況等について報告してください。
事務局	承知いたしました。夏休み中の実績を含め、9月の教育委員会時に御報告いたします。
委 員	学校訪問に伺った際、授業改善の様子などを拝見していますが、学校間で差があるように感じます。また、そろそろ学力・学習状況調査の結果も戻ってくる頃かと思えます。その結果を各学校はどのように分析して、どのように活用していくのか、また、教育委員会は各学校の授業改善をどのようにサポートするのか教えてください。
事務局	承知いたしました。学力・学習状況調査の結果は、各学校において夏休み中に分析を行いますので、教育委員会のサポートを含め、御報告いたします。
教育長	それでは、「報告第7号及び報告第8号、議案第16号及び議案第17号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。
	【関係者以外の退席を確認後、報告第7号及び報告第8号を報告、議案第16号を議決】
教育長	続きまして、「議案第17号 平成30年度一般会計教育委員会関係9月補正予算（案）について」を事務局より説明願います。
事務局	款項目順に御説明いたします。教育政策室事業について、歳入に関する補正について申し上げます。 資料7ページを御覧ください。まず、款15県支出金につきまして、このたび、埼玉県が実施するプログラミング教育推進事業のモデル校に戸田第一小学校が指定されたことにより、その事業費の15万円を委託金として増額補正するものです。 簡単に事業内容を申し上げますと、御案内のとおり、平成32年度から

全面実施される小学校学習指導要領においてプログラミング教育の実施が示されたことを受け、埼玉県では、県内の各学校でプログラミング教育が円滑に実施できるようにするため、今年度から事例研究及び授業公開を行うモデル校を県内で8校決めました。戸田第一小学校は来年の1月29日（火）に県内の教員を対象に授業公開を行う予定です。

続いて、歳出補正について申し上げます。この歳出補正は、先程の歳入を特定財源とするものです。

このたびの事業では、モデル校である戸田第一小がプログラミング教育の授業公開を行うことから、その際の経費として、教職員研修費において講師謝礼6万円と事務用消耗品9万円を計上しております。

続きまして教育総務課事業の歳出補正について申し上げます。

小学校施設管理費及び中学校施設管理費において、学校施設に係る修繕については、予定されている修繕のほか、年度内に緊急で実施する修繕も含め、当初予算に計上し、年間を通じて計画的に修繕を行っております。

先程も御報告いたしましたが、大阪北部地震によるブロック塀倒壊事故を受け、倒壊の危険性が高い美女木小学校プール及び笹目中学校プールの既存ブロック塀の修繕工事を緊急的に実施しております。

当該修繕に係る費用については、当初予算で計上済みの修繕料から支出いたしますが、同修繕に係る支出額が大きく、予算残額では7月以降に想定される修繕を実施できない見込みであることから、学校施設の維持管理に必要な予算を確保するため、今年度中に見込まれる支出金額に対し不足する金額を増額補正するものです。

また、中学校施設整備事業において、先程も御報告いたしました新曽中学校の教室棟増築工事に伴い、家屋調査業務委託料を増額補正するものです。また、来年度実施する教室棟増築工事及び工事監理業務について、今年度中に契約準備行為等を行うため債務負担行為を設定するものです。

教育長

以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。

